

第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

報告書資料 一般 - 80

学校名・団体名	京都乙訓ふるさと歴史研究会
コース	団体研究
活動・研究のテーマ	ふるさと歴史学習の成果を地域に発信する

〈活動・研究の意義および活動報告〉

京都乙訓地域のいくつかの小学校や向日市文化資料館の連携により、児童の地域歴史学習（地元の伝承聞き取り、フィールドワーク、外部講師による指導等）を行うと共に教職員研修会等を行い、その成果を作品展示や児童同士発表の形を含めて、地域に発信する。

○歴史学習成果発表（平成30年4月～6月）

向日市立第2向陽小学校6年生が、グループごとに地元の歴史に関わるテーマを定めて、フィールドワークや地元文化財調査事務所や文化資料館職員などを行った上で、調査成果をとりまとめてポスターセッション方式で発表会を行った。



○子ども歴史教室・作品展示と子ども武者行列の実施（平成30年7月～12月）

夏休みに向日市文化資料館が実施する子ども歴史教室に協力し、紙製の本格兜作りを行った。

また、向日市まつりにおける子ども武者行列に参加協力し、児童は手作り甲冑、手作り兜に身を包んで西岡衆に関わる学習成果を発表した。

また、向日市文化資料館でふるさと学習成果展示が開催され、児童作品を出品した。



子ども歴史教室



子ども武者行列



ふるさと学習成果掲示

○保護者読み聞かせサークルによる歴史物語上演（紙芝居・劇・人形劇のコラボ） 平成30年11月

豊臣秀吉による朝鮮出兵の際に、大軍勢を率いた秀吉が京都を出発して最初に休憩した場所が、向日市の向日神社前であったエピソードを、向日市立第5向陽小学校読み聞かせサークルはらぺこあおむしが、電子紙芝居、劇、人形劇をミックスした形で上演した。

○戦国武将 細川藤孝の研究と絵本の発行 平成31年3月

教員研修テーマとして、地元勝龍寺城を拠点としていた戦国武将細川藤孝を扱った。昨年、紙芝居として作成していた内容にさらに資料を追加するとともに、手直しを加えて、絵本の形にまとめることができた。



○劇発表「西岡衆の活躍」について 平成31年2月

向日市内には、戦国時代の城館跡が多数存在する。戦国時代に自主独立を約70年間維持し治めていた武士（国人）の一人 物集女氏の活躍や織田信長との関わりについて学び、劇化を通して地域、保護者や他校に向け発信した。

○教員研修成果を基にした実験授業の準備（平成30年11月～）

明智光秀と羽柴秀吉による天下分け目の「山崎の戦い」をテーマとして勉強会を開催した。参謀本部作成の布陣図等各種文献資料を持ち寄り、戦いの様子や歴史的意義などについて議論した。平成31年度中に、「山崎の戦い」をテーマに、立体模型や図などを基に児童による議論を中心とした実験授業を行うため、史料研究、指導案検討を行った。

○西岡衆（NN036）総選挙（取組中）



児童・保護者による学習成果として、キャラクター化した武将の中からマイベストを選ぶ選挙の実施について検討したが、絵の制作・検討が予定通り進行できず、絵カードとして完成には至らなかった。今後、一人一人の武将についての研究をさらに進めながら、児童に親しみやすいキャラクターの作成とカードゲーム化を含めて次年度の取組みとして継続することとした。